

「de mano(じ まあの)」は、牛豚肉を加工する「まあの」が発行するミニコミです。生産地の様子や生産者の声、「まあの」からのお知らせや小村の個人的な関心事などを掲載しています。

「mano」はスペラント語で「手」の意味です。生産と消費が「手」つなぐ肉流通を作り、「手」作業主体の職人の技術で肉を加工するという意を込めています。



発行:まあの【火曜定休】

兵庫県尼崎市戸ノ内町5丁目8-6

☎ 06-6495-2546

✉ 06-6495-2900

✉ mano0298@snow.plala.or.jp

HP <https://www.e-sora.net/mano/>

先月号でにんじんくらぶがまあのを見学されたことをお伝えしましたが、後日感想をいただきました。にんじんくらぶは八百屋グループとして35周年、まあのは33周年です。

今後のこと 待ったなし！ 德本雅子

まあのさんとは30年近くのお付き合いになりますかね。その間、大鹿村や芦浜に6回ほど参加させていただきました。でもお肉の整形（豚のさばき）は今まで一度も見



学したことがなく、今回思い切って尼崎の工房に行かせてもらいました。毎週送ってもらうフレッシュの豚肉・牛肉は「一度も冷凍していないお肉です」と言ってお客様にお勧めしてきたうちの一一番の売れ筋商品です。丁寧にパック詰めされ丁寧に梱包されていて、いつもまあのさんご夫妻の人柄やなと思っています。

実際 16℃の作業部屋はじっと見ているには寒いです。部屋は汚染区域と非汚染区域に区別され、ウォークイン冷蔵庫は一方通行です。生肉を扱うのですから当然ですが、衛生的ですごく清潔感を感じる工房です。まあのさんは一頭買いでるので、毎週北海道から放牧飼育で健康に育った豚が、ファーマーズファクトリーでカットされ、パーツごとにパックされ届きます。作業台の上にパーツごとに 3~8kgある塊肉が置かれて、いよいよ豚の整形を見ます。塊肉は空気に触れると色が変わっていくので時間との戦いです。まず塊肉の表面を見ながら余分な脂を素早く手際よく削いでいきます。次にリンパ腺を丁寧に取り除き、端の方の肉はミンチ肉に分けられ、塊肉は見事に美しく整えられます。鋭く研がれた短い包丁をヤスリ棒でシュッシュッと研ぐ様は映画で見る光景。体力と繊細かつ大胆さが必要な職人技です。人の手でしかできない仕事で、ロボットには

できませんね。整形が進むごとに詳しく説明をいただき、初めて見る私たちは感心するばかりでした。

何でもかんでも値上がりの今、まあのさんの豚肉も牛肉も、企業努力でここ数年値上がりしていません。こんな良心的なお肉はありませんし、いつもこの良いお肉が食べられて幸せです。多くの人の手作業と思いが結集した安心で安全なお肉を、どうすればもっと売れるのかとずっと考えてきました。これからももっと考えていかなければなりませんが、まあのさんはあと2年でこの工房を閉じられるようです。とてもショックでしばらく落ち込みました。

次のことはミートミーティングでも話されて、みんなで知恵を出して考えましょう。待ったなしです。

やっと暑さが収まってきた

希望農場 10月農場たより

清野 光弘

今年は、6月から9月まで連日暑さが続いていましたが、10月に入ってやっと暑さが収まってきた。最高気温が25℃を下回り、最低気温も10℃を下回る日が多くなりました。ふとまわりを見ると、木々が色づき始めています。あと2週間もすると紅葉の真っただ中になると思います。そのころには、山では初冠雪のニュースも流れてくると思います。こんなことを考えていると、何と1年が過ぎるのが速いなあと感じられます。来月の下旬には、この厚真町にも初雪が降ってきます。そしてまた、銀世界の中の日々が続きます。

少し話が変わりますが、今年も大リーグで大谷さんが大活躍をしています。なかなか生放送で見ることができますが、夜のスポーツニュースを楽しみにして観ています。今年はお子さんも産まれ、ホームランも55本、さらに二刀流も復活しました。今年もワールドチャンピオンになって欲しいものです。

皆様のところは、いかがでしょうか？ 例年のような大雨に見舞われていないでしょうか。平穏な日々が

No.391

続いているでしょうか。

当農場のこの時期恒例となっているのが、放牧豚の寝床のバイオベッド（おがくずに発酵菌を混ぜて作ったベッドです）で使用したおがくずで作った堆肥（ほとんど無臭です）を農家さんたちが買い求めに来ることです。農家さんがトラックいっぱい積み込んで持って帰り、自分たちの畑に撒いて来年の収穫の準備をするのです。

放牧豚たちは夏の暑さから解放されて、この涼しさが好きなようで、元気に農場を走り回っています。

庭の木々に雪囲いをするのも、もう間もなくです。そして、ストーブが必要となる日も間もなくと思います。来月には、紅葉と初雪の報告ができるかもしれません。

私たちは皆様に美味しい安心できるお肉を届けるためがんばっています。

山の記録

御池岳・鈴北岳(滋賀県東近江市) 10月29日

名神彦根 IC をおりて R306 で山の中へ。鞍掛トンネルを出たところが駐車場です。まだ 8 時前で既に 8 台の車が。中には岡山ナンバーまであります。平日でもこんなに人気なんだ！ 国道を 15 分ほど下って行って、コグルミ谷登山口から山に取り付きます。かなりきつい傾斜が続きます。新しい標識が切れ目なくつけられ、迷いようがありません。すでに登って下りてくる人、私が追いついて追い越していく人…どんどん出会う人が増えてきます。岩場の横を通るとき、ふと見るとリスの姿が！ 複数います。「リスがいますよー！」近くの人たちがわーと集まって動画を撮ろうとします。まるで人に見られているのに応えるかのように、岩場を走り回って遊んでいるようです。なごみます。七合目、八合目と表示も出て、10 時に御池岳に着きました。やはり数人おられます。お願いして写真を撮ってもらいました。自撮り棒を使わないので久しぶりです。続いて鈴北岳に向かいます。日本庭園周辺は池があつたり風景も広がり、山の中ということを忘れます。池の写真を撮っている人に声をかけると、御池岳でもおられた人でした。



2025年12月 December

「岡山から来たんです」「ああ、岡山ナンバーがありましたね」。山談議に話がはずんでしばし立ち話。私が先に歩いて鈴北岳を目指します。樹木が姿を消し草原になり、ずっと先の頂上が

見えました。ここも何人かの先行者。「すごい眺望ですね！」カメラをセットしている人に思わず声を掛けました。「今日はちょっとかすんでるけど、よく見えますね」彼が山を同定してくれます。「とび出るのが御嶽、白山はもう雪が積もってますね。北アルプスもちょっと見えますね」。「眺望は御池岳よりこっちの方が断然いいですね」「冬は空気が澄んで、もっとよく見えますよ。12月はまだ雪もないし」。みんなで見晴らしを堪能しました。



下っていく途中でも登ってくる人と出会います。駆け下りるのを中断してまた立ち話。「あら、走っておられたのを止めて、ごめんなさい」。いえいえ話すのは楽しい。コケ地帯の保護のため、通路の両脇にロープが張られています。できるだけ自然を傷めないように。

また追いついた人と歩きながら話します。「クマに出会ったことはありますか？」「はい、昔二度ほど」「大丈夫だったんですか？」「こちらは 3 人だったんですけど、林の中を黒い大きなごみ袋が 2 つ動いてるんです。やっとクマだと気づいて、でもお互い素知らぬ風に離れていきました。昔は暗黙のルールみたいのがあつたみたいです」「今は人間がルールを破ってますね」。

やがて車が見えてきました。リスに餌をやろうとする人がいると聞きますし、クマ問題でも、人間が環境破壊してしまった結果ではないでしょうか。自然を楽しみ、人との会話を楽しみ、学ぶことが多い充実した 4 時間でした。

ニ ク ャ ノ ツ ブ ャ キ

- ◇ 事業承継の相談で、また中小企業診断士の方に来ていたときました。相手方との話し合いでは書面を交わした方がいいとは思いますが、あまり堅苦しいのは…？(幸治)
- ◇ 以前、国民健康保険の頃、後期高齢者支援分という名目で保険料が加算され痛いなあと感じていましたが、今や支援される側になってしまい、喜べない話です。(幸子)